

30年後の海は
魚よりも
プラスチックごみが
多くなる!?



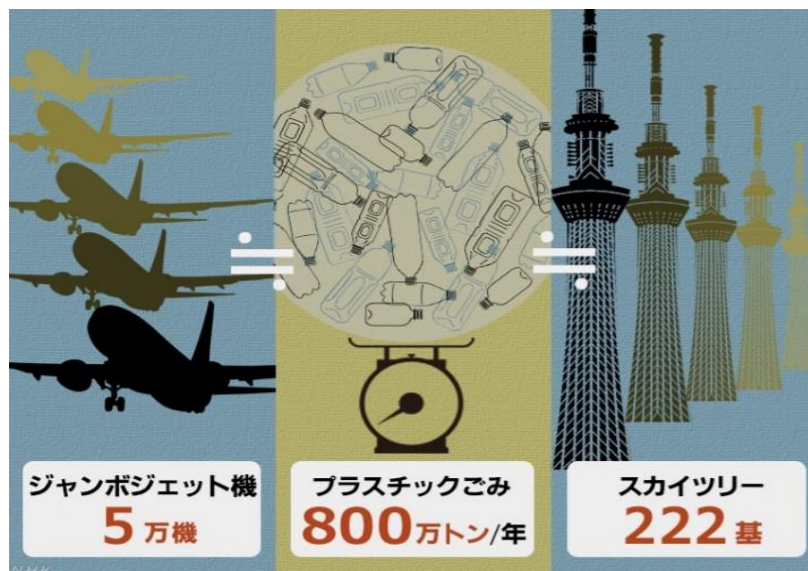
どんなものが海のプラスチックごみになっているのかな?



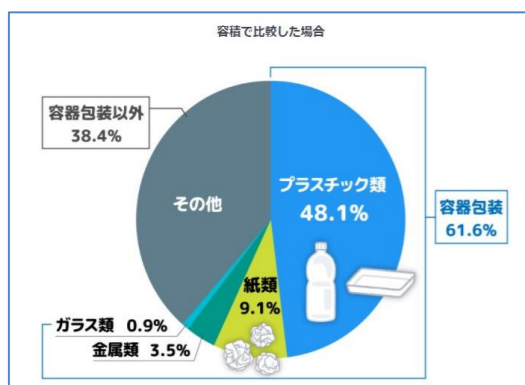
海のプラスチックごみは、私たち人間の出したものです。
なかでも分解されるのに時間がかかるプラスチックごみは、海に長期間残存し、海の生き物にも悪影響を及ぼしています。
このままですと、30年後の2050年までにはプラスチックごみが魚の重量を上回るとも言われています。

世界では年間約 800 万トンのプラスチックがごみとして海に流れ込んで
いるとも推測されています。

2050 年には、海にいる魚すべての重量よりプラスチックのほうが重くな
ると言われています。



家庭ごみの半数はプラスチック類



エコ活動 冬号

「プラスチック・スマート」な暮らし

「プラスチック・スマート」とは、環境省が実施している海洋プラスチックごみの削減に向けたキャンペーンの名称で、プラスチックとの賢い付き合い方のことです。



こんにちは、環境保全茨城県民会議のマスコットキャラクター「えごびー」です。今日はいっしょに、プラスチックと環境について考えてみましょう!



茨城県の海岸では

平成23年度茨城県海岸漂着物対策推進地域計画によると「木の幹や枝、植物片などの自然系漂着物に次いで容器包装のプラスチック類が多くみられた」とあります。

でも、海の中のごみはやがて分解されて自然に還るんじゃないかな?



プラスチックごみが自然分解されるまでに必要な年数



プラスチック製食器
100~1000年



釣り糸
500年



オムツ
450年



レジ袋
10~20年



発泡スチロール製カップ
50年



タバコ
10年

海のプラスチックごみ問題は、他人事じゃないんだね。



わたしたち一人ひとりが3Rを意識して、プラスチックをかしこく利用する暮らしに変えていきましょう。
それが「プラスチック・スマートな暮らし」です。
小さなことでも、まずはできることからトライしてみましょう!



プラスチック製買い物袋の代わりに、
エコバッグ・マイバッグ等を使いましょう



プラスチック製の使い捨てカップの代わりに、
マイボトル等を使いましょう



プラスチック製の使い捨て食器の代わりに、
マイ箸等を携帯し使いましょう



3RはReduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3つのRの総称です。
ごみを減らし、限りある地球の資源を守るために、資源を有効的に繰り返し使う社会(循環型社会)を実現するための重要なキーワードとして位置づけられています。
海洋プラスチックごみの問題も、この3Rの視点で、自分たちが身近にできることから取り組んでみるのが大切です。

Reduce リデュース ... ごみになるものを減らすこと



こんなことに取り組んでみましょう!

- スーパーなどで食品を小分けにするポリ袋の使用を減らす
- 食品の保存はふた付き容器を使い、ラップの使用を減らす
- 原料採取から処分までの環境負荷も考慮して、商品を選ぶ

Reuse リユース ... ものを大切に繰り返し使うこと



こんなことに取り組んでみましょう!

- マイバッグを定期的に洗濯して、清潔に長く使う
- マイボトル(水筒)、マイスプーンなどを持参し、使い捨て容器等の使用を減らす
- 詰め替え用ボトルなど繰り返し使えるものを選ぶ

Recycle リサイクル ... ごみを原材料として再生利用すること



こんなことに取り組んでみましょう!

- ごみは所定の場所・時間に、分別して出す
- 再生プラスチック製品を使用する
- ごみのポイ捨て、不法投棄はしない
- 屋外で出たごみは家に持ち帰って処分する
- 河川敷や海岸の清掃活動に参加する

プラスチックを賢く利用できるように心がけましょう

